

住宅街からオフィス街へ 東上線で活躍した8000系が登場



東武鉄道商品化許諾済

8両セット



形状のほか軸間距離の違いを再現

先頭車 2両増結セット



8両セット

- ・S形ミンデン台車 (FS396/096)
- ・HB-2000CA形コンプレッサー装備

先頭車 2両増結セット

- ・ミンデンドイツ台車 (FS356/056)
- ・HS-20C形コンプレッサー装備



HIDの前照灯を再現

関連製品



10-1592 ~ 1594
東武鉄道 東上線 50070型



10-1259 ~ 1261
東京メトロ有楽町線・副都心線10000系



28-242-2
東武鉄道 8000系
グレードアップシール2
(東上線更新車・LED表示)
*ホビーセンターカッター取扱品

東上線の主力車両として活躍した8000系の後期更新車は、屋根上のベンチレーターを撤去、HIDのヘッドライトが採用された姿で、末期まで池袋口運用に就いていた形式です。

東武鉄道東上線の8000系は後継車種登場後も10両編成で池袋～小川町間、ワンマン運転対応の4両編成で小川町～寄居間と越生線で運用されていましたが、平成27年(2015)の自動列車制御装置(T-DATC)導入に伴い、池袋口から撤退しました。小川町～寄居間、越生線では現在も活躍を続けています。50070型・東京メトロ10000系との併走もお楽しみいただけます。